

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 翔～ステラ～		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実さや理学療法士によるリハビリなど特化した支援を提供している。	通常日は、個々に合わせた学習や生活訓練、また専門職によるリハビリなどを取り入れた個別支援や公園、室内レク等を行なっている。長期休暇では、商業施設にお買い物体験や、バス・JRなどの乗車体験、温泉や映画館など色々な場所にお出掛けをするなどバリエーションに富んだ活動を取り入れている。	活動の計画(日案)の制作、事前に場所確認、施設内の確認などを行い、一日を有意義に過ごせるように事前に活動準備を行っている。
2	送迎サービス	長期休暇、土日祝日も自宅前もしくは保護者の都合等も考慮し可能な限り、送迎場所、時間の調整を行い対応している。また送迎時に保護者への活動報告などコミュニケーションを図ることでより良い信頼関係が保たれている。	送迎を有効活用し今後も保護者との連携しっかりと図れるようにする。
3	土日祝日、長期休暇のサービス提供時間が長い。	長期休暇、土日祝日は長時間のサービス提供の為、活動として、遠出の活動などを取り入れるなど、時間に余裕をもって一人一人の利用者にしっかりと向き合える。	今後も長期休暇、土日、祝日のサービス時間提供時間を維持していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普通学校と特別支援学校の下校時間のばらつきがある為、平日は活動開始時間や活動が限られてくる。	それぞれの学校の下校時間にばらつきや、普通小学校の宿題支援などから日によって活動時間の短縮を行わなければならない事もある。	公園で活動できる遊びや室内でのレクリエーション等、限られた時間を有効活用しながら、安全に楽しみ・学べる活動を考え取り組んでいく。
2	事業所の設備等、利用者の障害者特性に応じたバリアフリーなどの配慮が適切になされていない場所がある。	急な階段には滑り止め、手摺りを設置して、できる限りの対応はしているが身体が不自由な利用者の階段の登り降り時は常に配慮が必要とされる。	階段等の修繕は中々難しい為、階段の登り際には必ず一対一の支援に入るなどの配慮、また配線に関しては修繕する方向で検討を進めている。
3	地域交流や家族等が参加できる研修などの機会が少ない。	コロナ渦の流れから中々地域交流や他事業所との交流が図れていなかった。新型コロナウイルスが5類に移行になってからも中々交流の場を設けられていない。	日頃より地域の情報収集に努め、参加できそうな活動には積極的に参加できるよう働きかけていきたいと思っている。